

# 医学総合研究特論 I・II

## Methods of Medical Research I・II

### 授業概要

医学研究を行うための形態・機能・生態学的な各分野にわたる基礎的な方法論の理論と実際、有用性と限界、ならびに実際の研究におけるその組み立て方などについて前半の特論 I においてオムニバス形式で学ぶ。後半の特論 II においては、これらの方法論を応用した実際の研究の実例として、学内外の専門研究者による特論をオムニバス形式で学ぶ。

### 担当教員

#### 医学総合研究特論 I 前期

浦野 健	教授	: 生化学講座 (病態生化学)
松崎 有未	教授	: 生命科学講座
松本 健一	教授	: 総合科学研究支援センター (生体情報・RI実験部門)
鈴木 律朗	教授	: 内科学講座 (血液・腫瘍内科学)
尾林 栄治	准教授	: 生化学講座 (病態生化学)
吉山 裕規	教授	: 微生物学講座
木村 宏	教授	: 名古屋大学大学院医学系研究科微生物・免疫学
和田 孝一郎	教授	: 薬理学講座

#### 医学総合研究特論 II 後期

土田 明彦	教授	: 東京医科大学 消化器外科・小児外科学講座 (名誉教授)
田村 研治	教授	: 島根大学 先端がん治療センター/腫瘍内科
和田耕一郎	教授	: 島根大学 泌尿器科学講座
玉置 幸久	准教授	: 島根大学 放射線治療科
馬庭 壯吉	教授	: 島根大学 リハビリテーション医学講座
管野 貴浩	教授	: 島根大学 歯科口腔外科学講座
田島 義証	教授	: 島根大学 消化器・総合外科学講座

### 成績評価法

出席状況および参加態度から総合的に評価する。

### 参考文献

適宜、項目ごとに適宜関連文献や論文を示す。

**【講義時間】原則、火曜日 18:30～20:00 【講義室】随時お知らせ 前期**

回	年月日	授業内容	実施形態	担当教員
1	R4. 5. 10	若手研究者のための英語論文作成、研究者倫理および科研費申請の心得	対面	浦野 健
2	R4. 5. 17	フローサイトメトリーを用いた生命科学研究	オンデマンド	松崎 有未
3	R4. 5. 24	プロテオミクス解析を用いた生命科学研究	対面	松本 健一
4	R4. 5. 31	血液腫瘍に対する細胞療法	対面	鈴木 律朗
5	R4. 6. 7	組換えタンパク質発現を用いた生命科学研究	対面	尾林 栄治
6	R4. 6. 14	遺伝子組換えウイルスを用いた生命科学研究とバイオセーフティ	対面	吉山 裕規
7	R4. 6. 28	全ゲノム解析を用いた生命科学研究	対面	名古屋大学 木村 宏
8	R4. 7. 5	動物モデルを用いた病態解析と薬効評価への応用	対面	和田孝一郎

**【実施形態について】**

①対面：所定の感染対策を取り実施する。講師は、事前に「対面講義実施計画書」を学務課に提出する。講師、履修者、TAは「自己健康管理票」により事業実施前10日間の健康観察を行った上参加する。

②同期型オンライン：Teams 該当チーム内で開催されるオンライン会議に参加すること。

③非同期型オンライン：Teams 該当チーム内で動画を視聴し、学務課にレポートを提出すること。

※対面講義の場合は、必ず②③と組み合わせて実施する。例) ①+③, ①+②+③

※同期型オンライン講義の場合は、その模様を録画し③を実施することがある。

【講義時間】原則，火曜日 18:30～20:00

【講義室】(第1～6回:講義棟1階国際交流ラウンジ, 第7回:講義棟2階L2) 後期

回	年月日	授業内容	実施形態	担当教員
1	R4. 10. 11	消化器外科手術の up to date	対面	土田 明彦
2	R4. 10. 18	抗がん剤の効果予測マーカーに関する研究	対面	田村 研治
3	<del>R4. 10. 25</del> R4. 11. 1	Urinary tract features and application to basic/clinical research	対面	和田耕一郎
4	R4. 11. 8	放射線治療の基本と実際	対面	玉置 幸久
5	R4. 11. 15	エビデンスに基づいた股疾患のリハビリテーション治療	対面	馬庭 壯吉
6	R4. 11. 29	生体吸収性材料を用いた骨再生医療研究とその臨床応用	対面	管野 貴浩
7	R4. 12. 13	消化器外科疾患の最先端手術	対面	田島 義証

10月11日の「消化器外科手術の up to date」については，18:00～19:30に開講します。

【実施形態について】

- ①対面：所定の感染対策を取り実施する。講師は，事前に「対面講義実施計画書」を学務課に提出する。講師，履修者，TAは「自己健康管理票」により事業実施前10日間の健康観察を行った上参加する。
  - ②同期型オンライン：Teams 該当チーム内で開催されるオンライン会議に参加すること。
  - ③非同期型オンライン：Teams 該当チーム内で動画を視聴し，学務課にレポートを提出すること。
- ※対面講義の場合は，必ず②③と組み合わせて実施する。例) ①+③，①+②+③
- ※同期型オンライン講義の場合は，その模様を録画し③を実施することがある。